

乳がん治療 現況と展望

K-net
2007.11.15

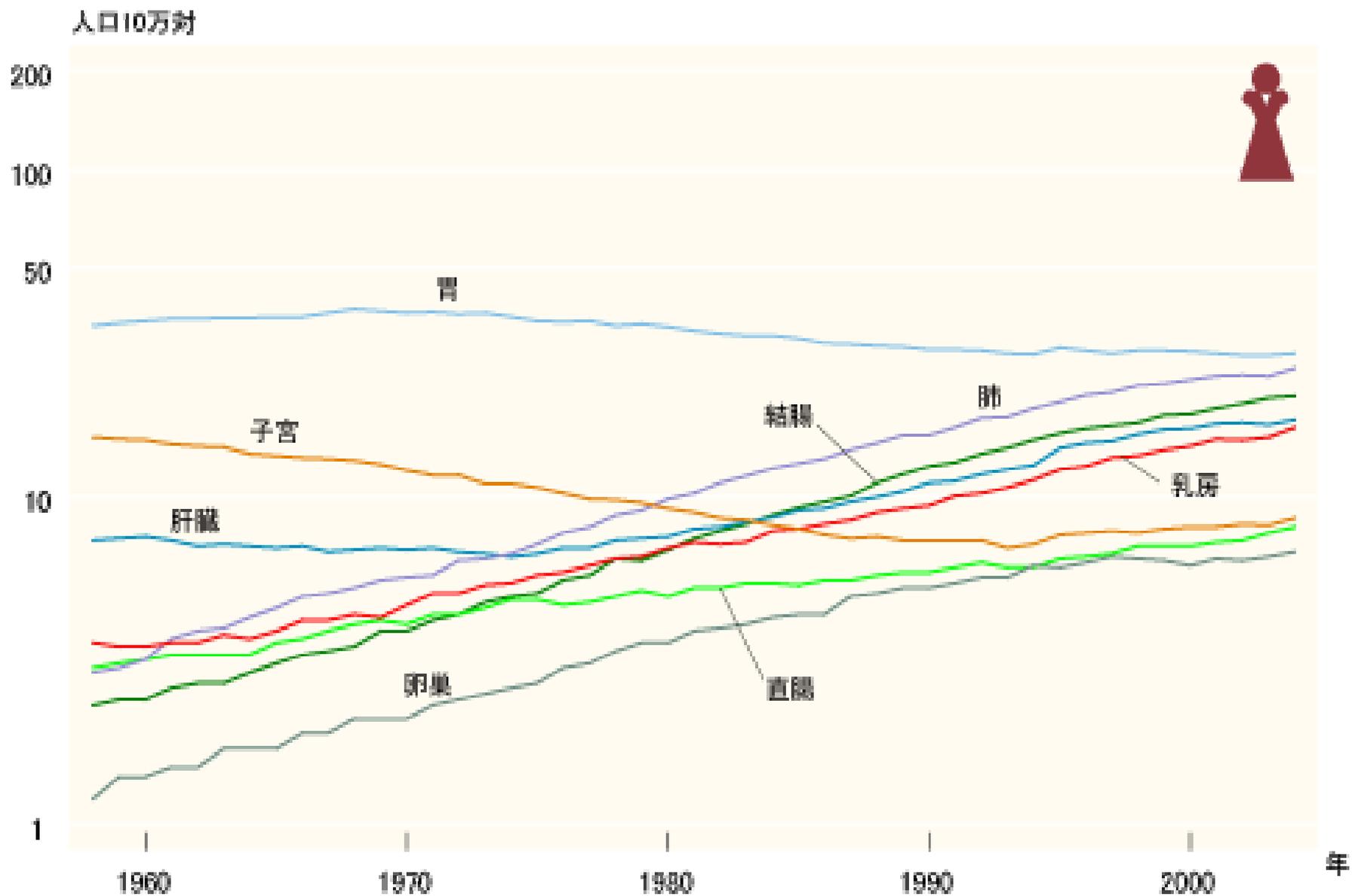
広島市立広島市民病院乳腺・内分泌外科

桧垣 健二

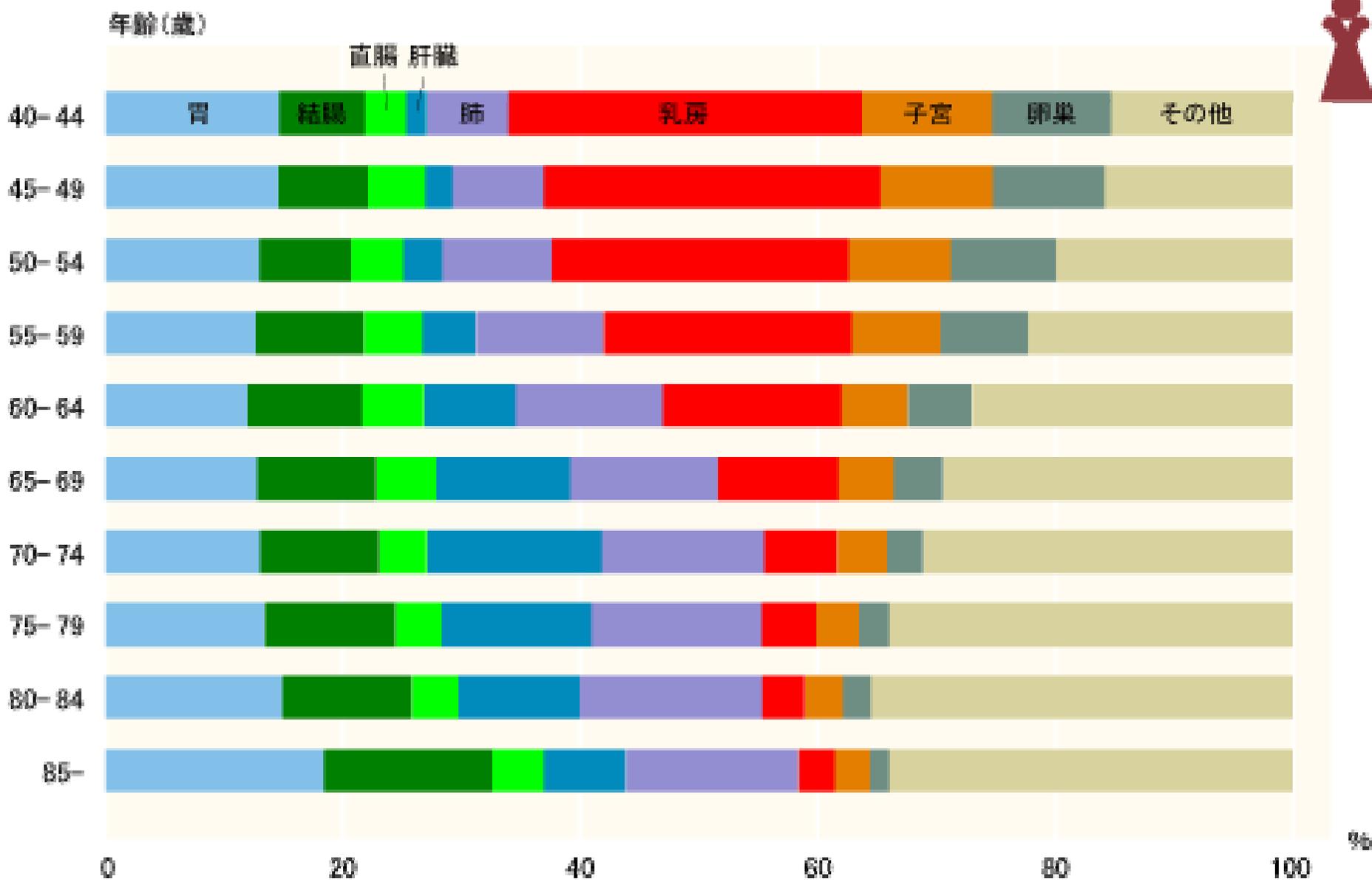
内容

- 乳癌の増加
- 乳癌治療の二大柱
- 早期発見
- 乳癌治療は全身治療の強化と手術の縮小化
- 当院での取り組み
- 県での取り組み

部位別がん粗死亡率の推移 女性



年齢・部位別のがん死亡数割合(40歳以上 2004年) 女性



資料:人口動態統計

女性のがんの年代別死亡数

(2004年厚生労働省：10万対)

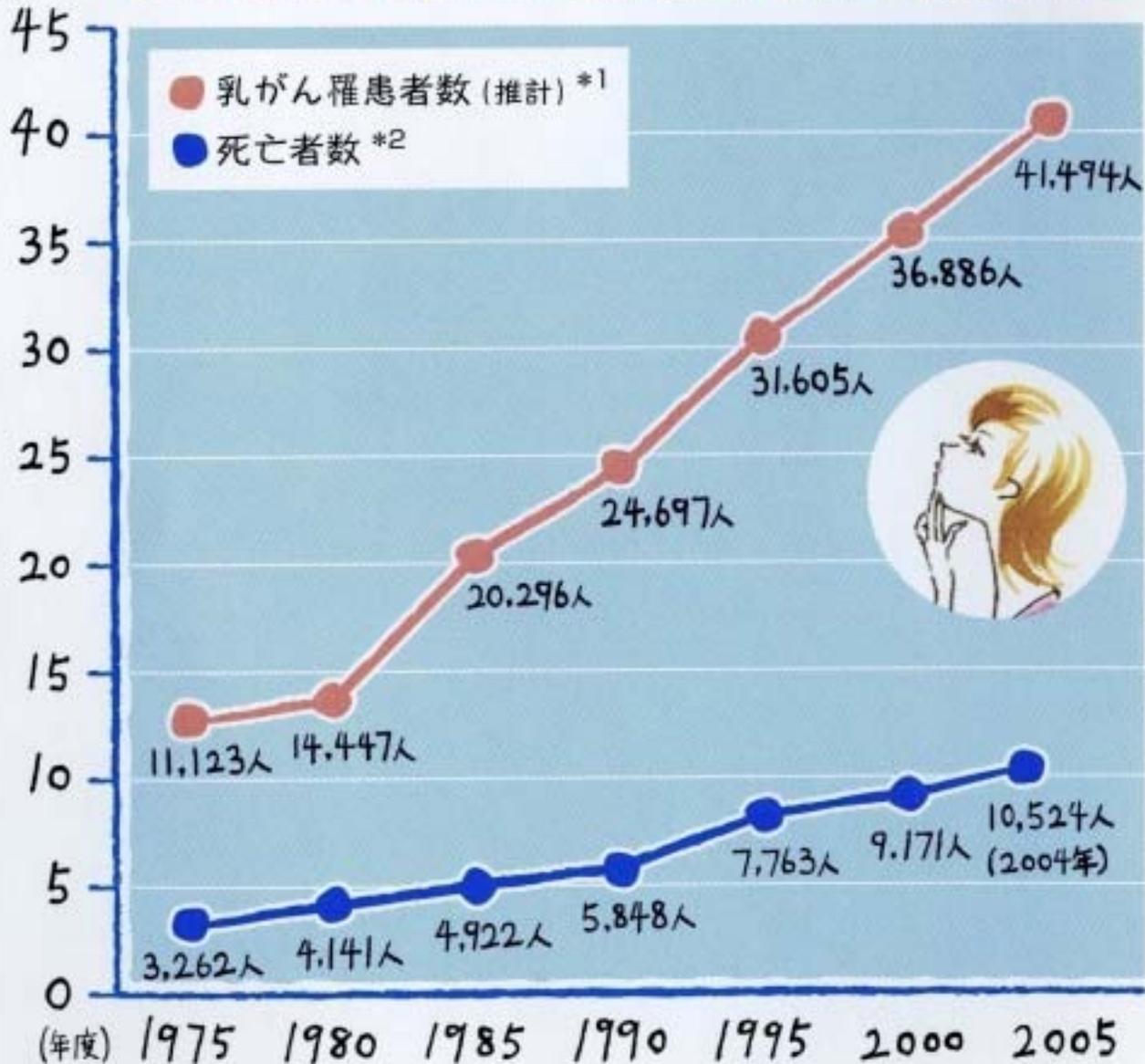
	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
第1位	乳がん	乳がん	乳がん	大腸がん
第2位	胃がん	胃がん	大腸がん	胃がん
第3位	大腸がん	大腸がん	胃がん	肺がん
第4位	肺がん	肺がん	肺がん	乳がん

30～64歳の女性の死亡原因の第1位

年齢階級別では乳癌の死亡率は**55～59歳**がピーク

日本における乳がんの罹患者数と死亡者数の推移

単位:千人

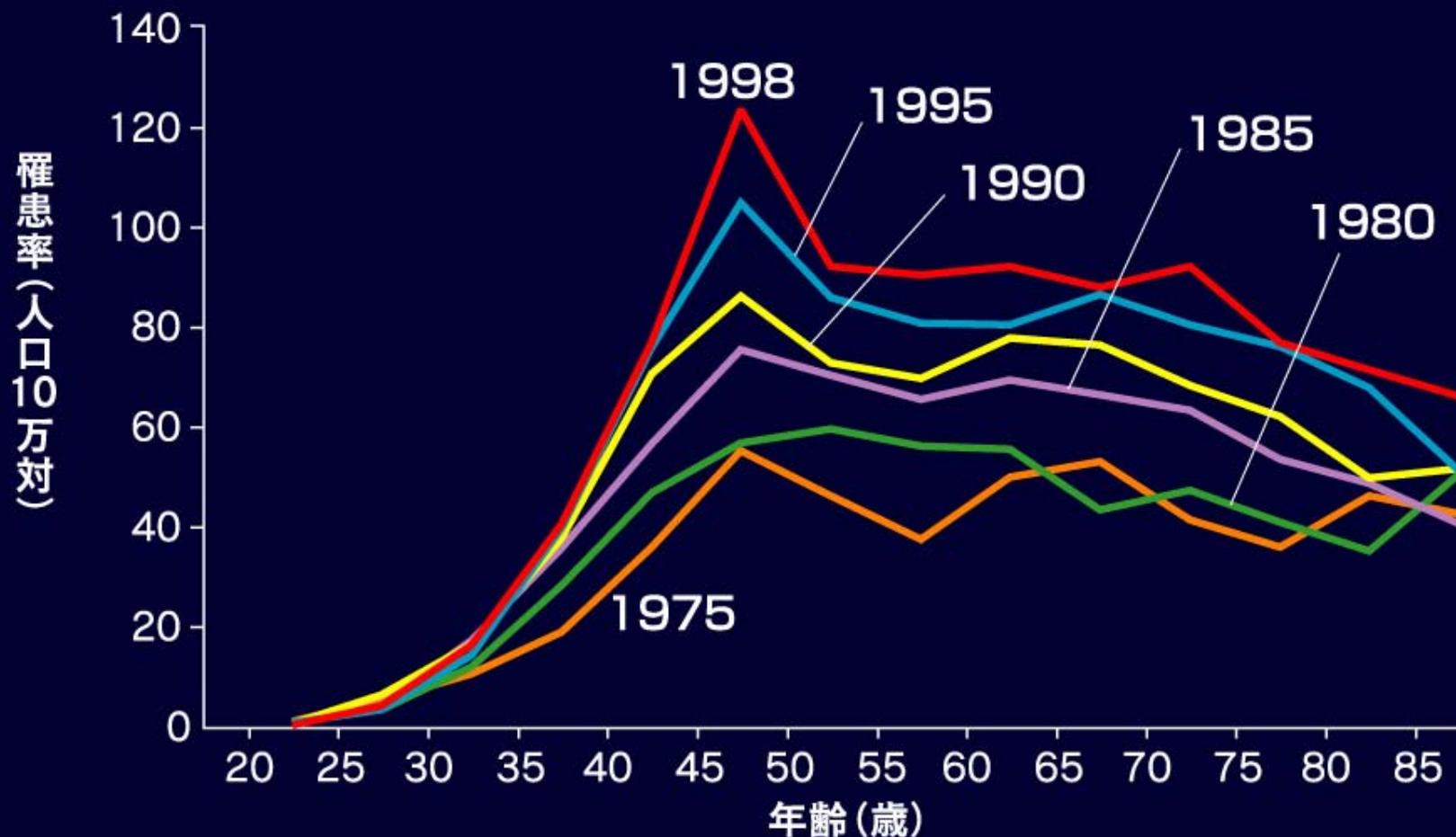


*1 篠原出版新社「がん統計白書-罹患/死亡/予後」(2005年)P211より

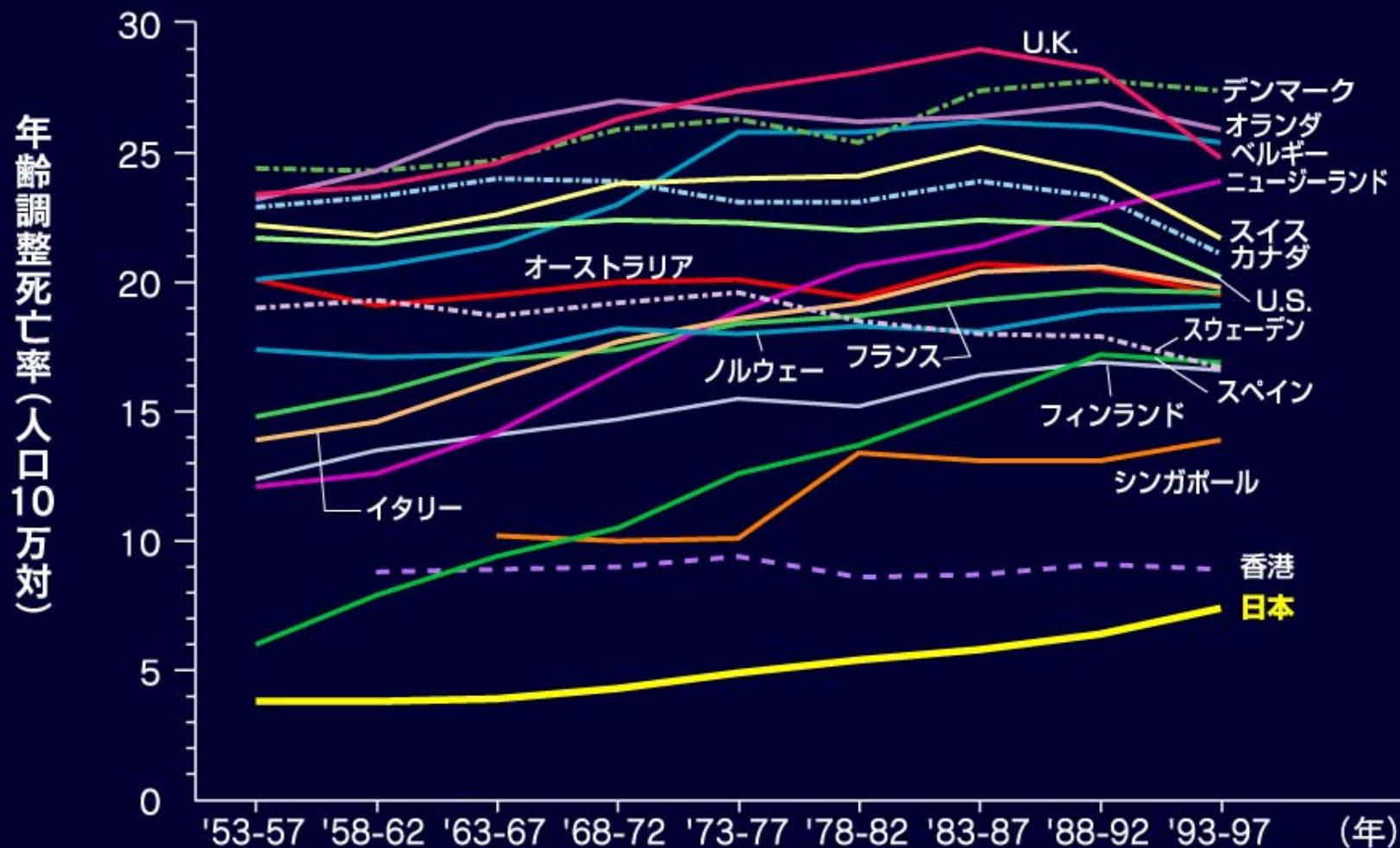
*2 厚生労働省「国民衛生の動向」(2005年)P384、厚生労働省「平成16年人口動態統計月報年計(概数)の概況」より

乳癌の年齢別罹患率

■ 1975~1998年



主要国における乳癌の死亡率の動向



欧米での死亡率の低下の理由は

- 乳がんの検診率の増加と検診精度の向上による早期発見の増加
- Evidence based medicine(EBM)に基づいた標準治療の順守
- 最近では、ホルモン補充療法の自粛により罹患率も下がってきたともいわれている

乳がん検診の受診率

アメリカでは70%

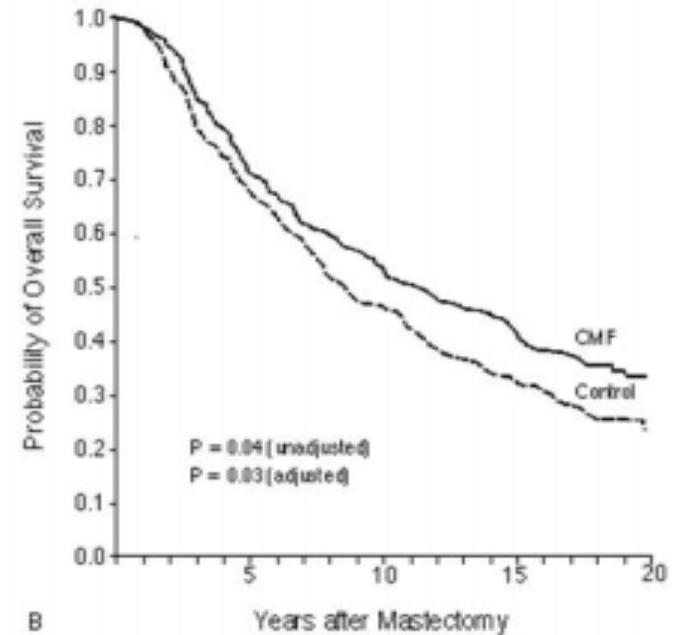
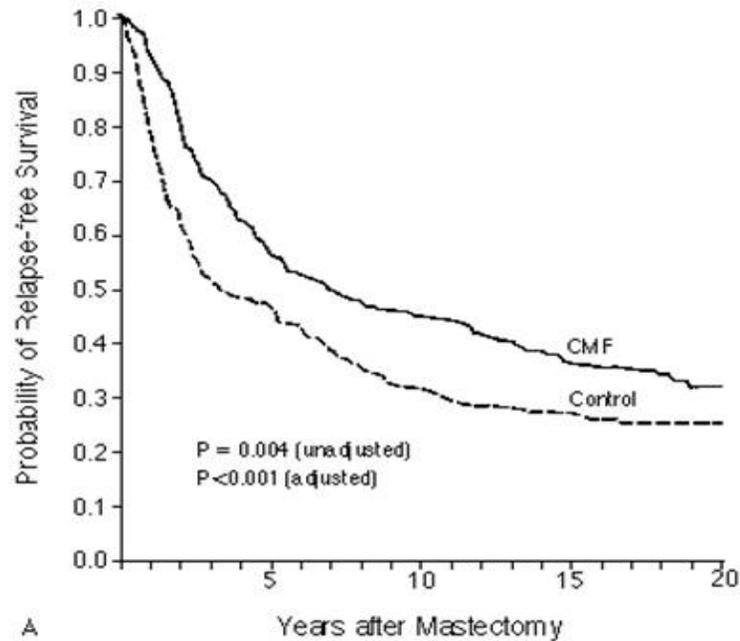
背景には、罹患率の高さと、医療保険による強制的な受診制度

日本では10%前後

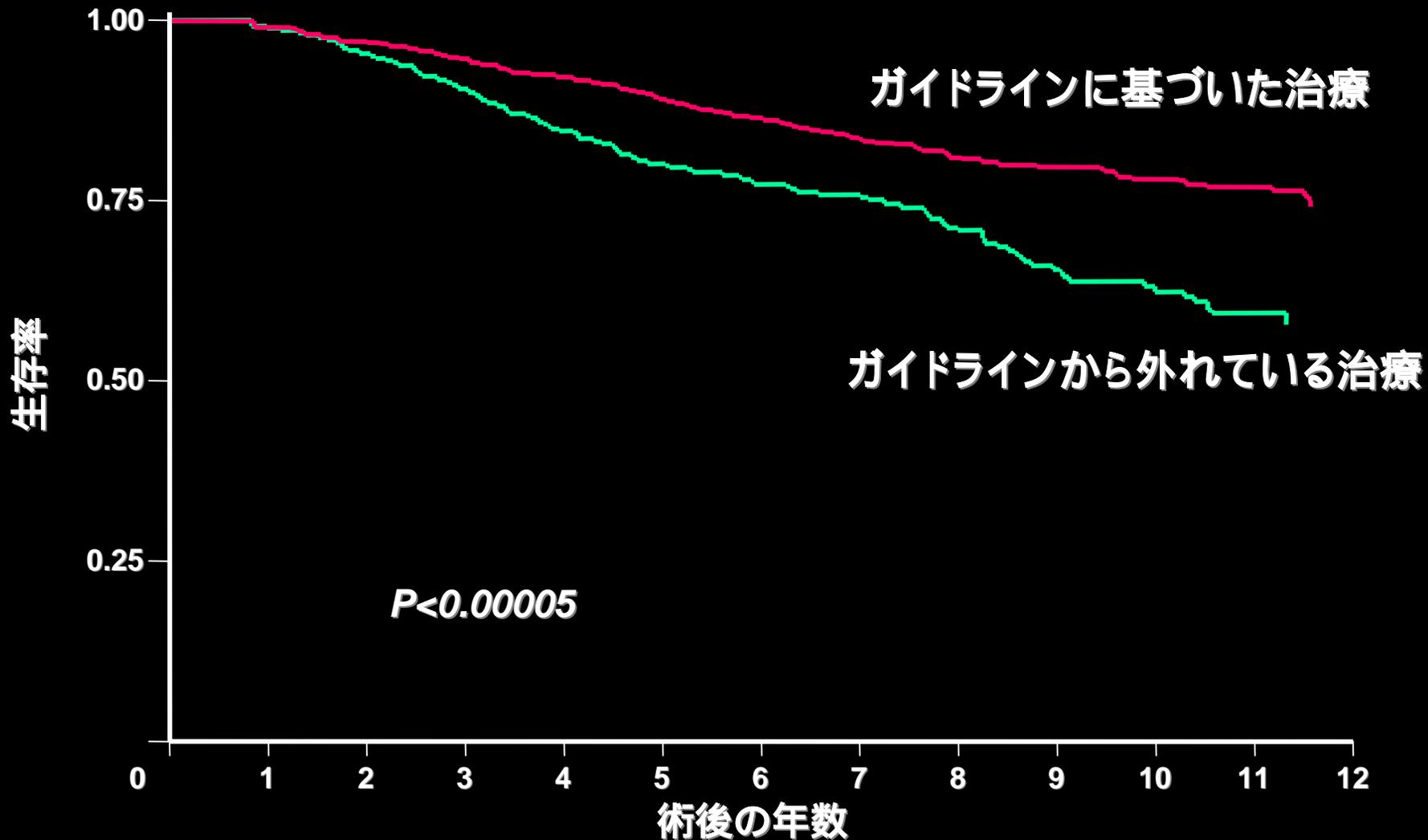
当面の目標は30%

自主的な受診を促す啓発活動が課題

The Milan Trial (CMF vs 手術单独)



ガイドラインに基づく治療



乳癌術後化学療法の変遷

手術単独

24%の再発リスク軽減

Milan¹⁾
EBCTCG²⁾

CMF療法
CPA + MTX + 5FU

EBCTCG³⁾

12%の再発リスク軽減

AC療法
ADM + CPA

17%の再発リスク軽減

CALGB 9344⁴⁾
NSABP B28⁵⁾
CALGB 9741⁶⁾
PACS 01⁷⁾
GEICAM 9906⁸⁾

AC-T療法
AC タキサン, Dense AC T

52%の再発リスク軽減

NSABP B31⁹⁾
NCCTG N9831⁹⁾
BCIRG006¹⁰⁾

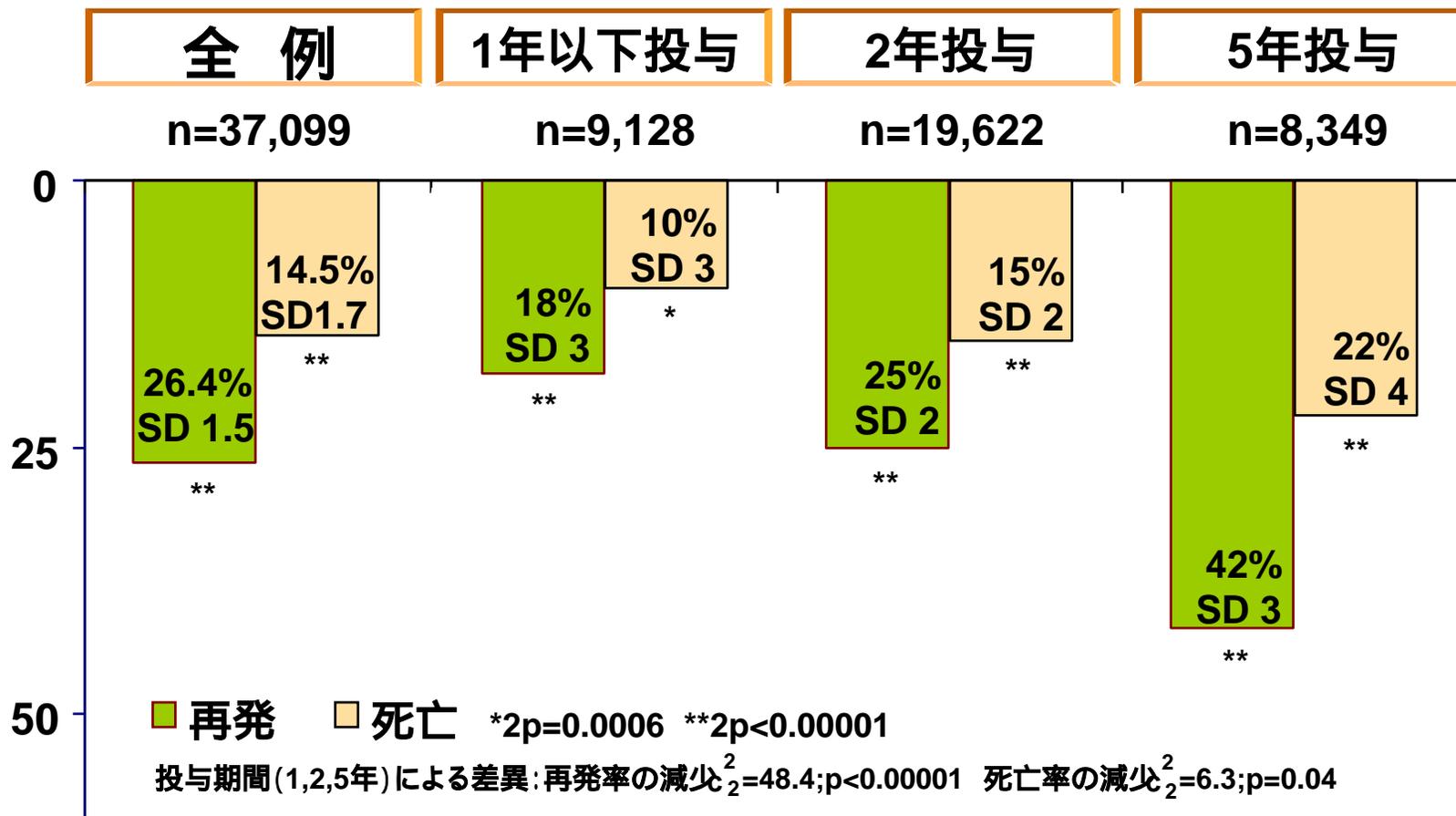
【HER2+】 AC-T+H
AC タキサン + Trastuzumab

治癒を目指した治療の必要性

1) NEJM 294,405-410,1976, 2) NEJM 319,1681-1692,1988, 3) LANCET 352:930,1998, 4) JCO 21,976-983,2003, 5) JCO 23,3686-3696,2005, 6) JCO 21,1431-1439,2003, SABCS 2005,#41, 7) SABCS 2004,#27, 8) SABCS2005, # 39, 9) NEJM 353:1673-84,2005, 10) SABCS 2005,#1

投与期間別の総合解析

非投与群と比べた相対リスク減少率(%)



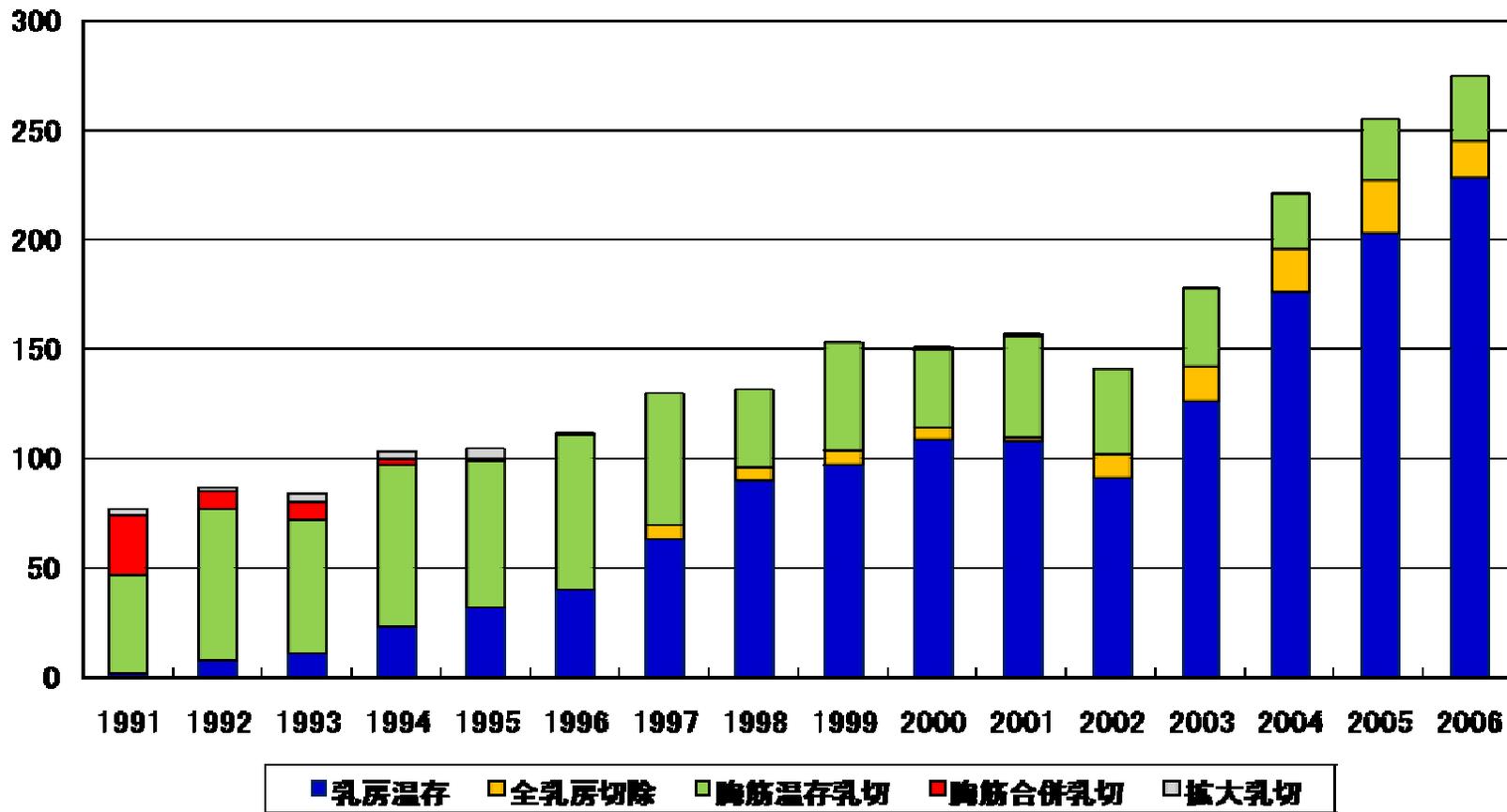
相対リスク減少率 = [100 - (TAM投与群と非投与群のオッズ比率) × 100]

: 1試験でTAM投与群と非投与群の症例数のバランスを保つために、非投与群を2倍に調整しているものあり
 文献のFigure1より相対リスク減少率(proportional risk reduction)のみを抜粋して作成

治療指針 (NCCN 2005年)

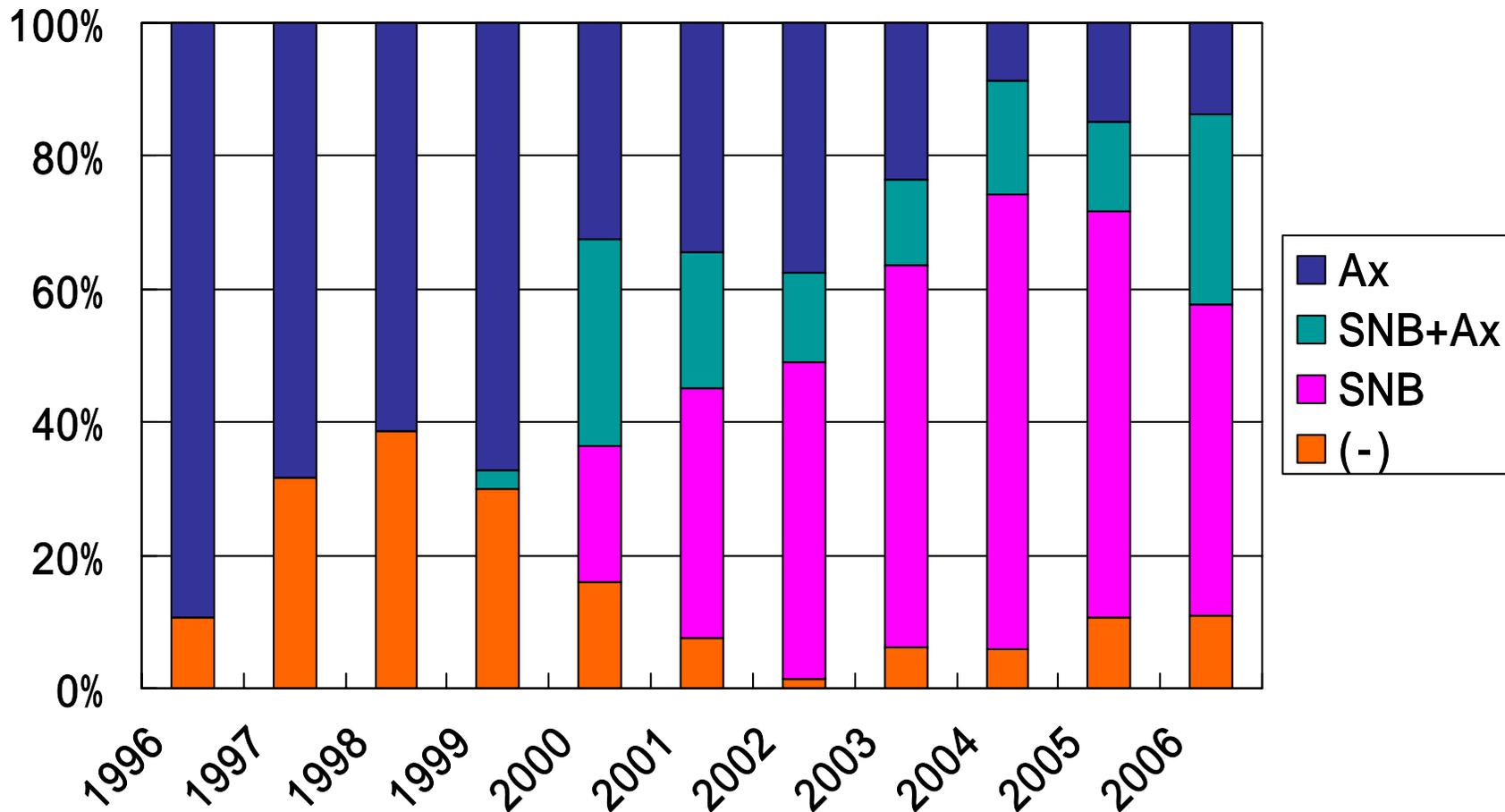
閉経状況	ホルモン感受性あり
閉経前	<ul style="list-style-type: none">● TAM ± 卵巣機能抑制
閉経後	<p>新患</p> <ul style="list-style-type: none">● アナストロゾール (5年間) <p>TAM 2~3年投与中</p> <ul style="list-style-type: none">● TAM エキセメスタン (計5年間)● TAM アナストロゾール (計5年間) <p>TAM 4,5-6年投与</p> <ul style="list-style-type: none">● TAM レトロゾール (5年間)

乳癌手術件数と術式の変遷



腋窩への手術の推移

SNB:センチネルリンパ節生検、Ax:腋窩郭清



早期乳癌に対するラジオ波焼灼療法の導入

乳癌手術の更なる縮小化と低侵襲化を目指して当院では、2006年12月の院内倫理委員会の承認を得て、2007年3月より早期乳癌に対するラジオ波焼灼治療(RFA)のFeasibility Studyを開始した。

当院におけるRFAの適応



1. 本試験について文章による同意が得られている。
2. 穿刺吸引組織診にて診断された 早期乳がん。
(ホルモン受容体、HER2/neuの発現、脈管浸潤、核異型度)
3. 画像診断上、以下の条件を満たす。
 - a) 長径2cm以下の単発病変。
 - b) 明らかな乳管内進展を認めない。
 - c) 微小石灰化を認める場合は、その病変が腫瘍内に限局している。

現在までに15症例を終了。

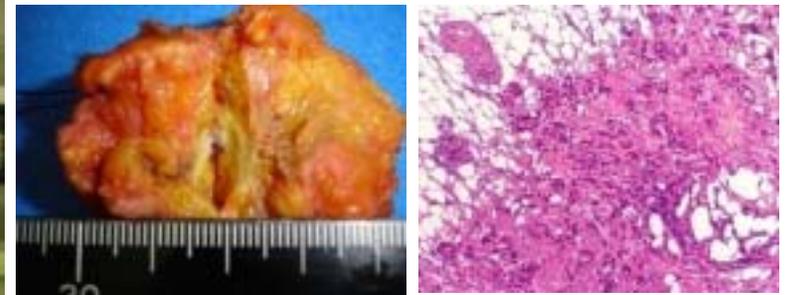
ラジオ波焼灼治療法 (RFA) の治療効果と整容性



RFA前



RFA1ヶ月半後



RFA1ヶ月半後の摘出標本にて
腫瘍の完全焼灼を確認

がん対策基本法

- がんの予防及び**早期発見**の推進
 - がんの予防の推進
 - がん検診の質の向上等
- がん**医療の均てん化**の推進等
 - 専門的な知識及び技術を有する医師その他の医療従事者の育成
 - 医療機関の整備等
 - がん患者の療養生活の質の維持向上
- 研究の推進等

広島県地域保健対策協議会 (広島大学・広島県・広島市・広島県医師会)

- 乳がん医療連携推進モデル検討チームによる試案
- 機能別施設群
 - 検診施設
 - 診断施設
 - 周術期治療施設
 - フォローアップ施設